

平成29年度の活動結果について

全国水産試験場長会では、全国水産試験場長会規約第4条に基づき、平成29年度に下記の活動に取り組んだ。

記

- 1 会員間の緊密な連携と情報交換の促進
- 2 関係する他機関等との情報交換、意見交換の促進
- 3 制度設計課題、技術課題のとりまとめ及び関係機関への要望活動など
- 4 地域水産試験研究振興協議会、全国水産業関係研究開発推進会議への参加及び意見提起など
- 5 漁海況モニタリング体制の維持充実に関する関係団体等との協議・要望活動など
- 6 全国大会の開催（PR活動含む）
- 7 優秀研究業績の表彰に係る審査、決定、公表など
- 8 会や会員の活動内容、研究成果などの情報発信及びPRなど
- 9 上記の目的を達成するための、幹事会、部会、三役会の開催

(参考) 全国水産試験場長会規約抜粋

(事業)

第4条 本会の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員間及び本会に関係する他機関との情報交換
- (2) 中央の関係機関への要望及び提言
- (3) 全国大会の開催
- (4) 優秀研究業績の表彰
- (5) 会報の発信
- (6) その他第2条の目的を達成するために必要な事業

【主な活動実績】

- (1)平成29年度第1回三役会、第1回海面部会・内水面部会、第1回幹事会開催
(H29. 5. 23~24) 三役、ブロック幹事出席
○平成29年度活動方針案及び活動計画案について ほか
- (2)関係機関・団体等訪問 (H29. 5. 23~24) 三役対応
○訪問先：水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構、全漁連ほか
- (3)平成29年度表彰審査委員会、第2回海面部会・内水面部会、第2回幹事会の開催 (H29. 9. 21~22)
○表彰審査委員会の結果について
○全国大会について
○地域水産試験研究振興協議会での協議事項について
○平成30年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (4)平成29年度第1回地域水産試験研究振興協議会出席 (水産庁主催)
(H29. 9. 22) 三役、ブロック幹事出席
○平成29年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (5)平成29年度第2回三役会の開催 (静岡県) (H29. 11. 7) 三役出席
○平成30年度地域の抱える懸案事項 ほか
- (6)平成29年度全国大会の開催 (静岡県庁) (H29. 11. 7~8)
○活動報告 (遠藤会長)
 - ・平成28年度活動結果および平成29年度活動計画について
 - ・国への要望「地域の抱える懸案事項」等について
○情報交換 (忠鉢副会長)
 - ・山形県の河川における漁場環境改善事例とそのモニタリング結果について
○話題提供 (増元副会長)
 - ・静岡県における水産業と水産試験研究の現状について ほか
○会長賞表彰 (忠鉢副会長)
「北海道のマナマコ資源の資源管理、生理生態に関する研究」

佐野 稔 主査（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 稚内水産試験場
調査研究部）

「シラエビの資源変動要因に関する研究」

南條 暢聡 主任研究員（富山県農林水産総合技術センター水産研究所）

「閉鎖性湖沼における放射性セシウムの動態解明」

久下 敏宏 主席研究員（群馬県水産試験場 放射能研究グループ）

○現地意見交換会

- ・焼津漁港、小川魚市場
- ・はごろもフーズ

(7)全国養鯉振興協議会主催全国食用鯉品評会での場長会賞表彰（福島県

H29. 11. 28）松本場長（福島県内水試）対応

○うま煮の部、創作料理の部各1点について場長会賞を授与

(8)平成30年度地域の抱える懸案事項に関する提案・要望書提出

（H30. 2. 16）三役対応

○水産庁長官宛要望書を水産庁保科増殖推進部長に手交

○（国研）水産研究・教育機構理事長宛要望書を宮原理事長に手交

(9)平成29年度第3回幹事会の開催（H30. 2. 26）

三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事

○平成29年度の活動結果及び30年度の活動方針・計画（案）について

○平成29年度第2回地域水産試験研究振興協議会、平成29年度第1回全国
水産業関係研究開発推進会議への対応について ほか

(10)平成29年度第2回地域水産試験研究振興協議会出席（H30. 2. 27）

三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事

(11)平成29年度全国水産業関係研究開発推進会議出席（H30. 2. 27）

三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事

(12)第23回全国青年・女性漁業者交流大会出席（全国漁業協同組合連合会主催）

における場長会会長賞の授与（H30. 3. 2）長谷川特別幹事

※その他水産庁、水産研究・教育機構等からの各種協力依頼に随時対応

- 水産研究・教育機構機関評価委員会（水研研究・教育機構主催）
（H29. 6. 15）遠藤会長対応
- 新たな育種技術（NBT）を用いた水産物の開発・実用化に関する検討委員会（水産研究・教育機構主催）（H29. 8. 28）遠藤会長対応
- 戦略的イノベーション創造プログラム（新たな育種体系の確立）に関するNBT実用化戦略会議の「水産部会」への委員派遣（農林水産・食品産業技術振興協会主催）（H29. 9. 6、H30. 2. 19）会長県対応
- 三倍体魚の特性評価申請に関する検討会（水産バイテク特性評価検討会）
（H29. 9. 19、10. 5）増元副会長、金谷幹事対応
- 水産工学関係研究開発推進会議（水産研究・教育機構主催）
（H29. 12. 4）長谷川特別幹事対応
- 水産業の成長産業化を推進するための試験・研究等を効果的に実施するための水産研究・教育機構の研究体制のあり方に関する検討会（H29. 12. 22、H30. 1. 17、2. 7、3. 1）遠藤会長対応
- 開発調査推進会議（水産研究・教育機構主催）（3. 13）遠藤会長対応
- 水産増殖懇話会（日本水産学会）欠席

平成30年度の活動方針・活動状況と計画について

【平成30年度の活動方針】

全国水産試験場長会では、全国水産試験場長会規約第4条の規定に基づき、平成30年度に下記の活動に取り組むものとする。

記

- 1 会員間の緊密な連携と情報交換の促進
- 2 関係する他機関等との情報交換、意見交換の促進
- 3 制度設計課題、技術課題のとりまとめ及び関係機関への要望活動など
- 4 地域水産試験研究振興協議会、全国水産業関係研究開発推進会議への参加及び意見提起など
- 5 漁海況モニタリング体制の維持充実に係る関係団体等との協議・要望活動など
- 6 全国大会の開催（PR活動含む）
- 7 優秀研究業績の表彰に係る審査、決定、公表など
- 8 会や会員の活動内容、研究成果などの情報発信及びPRなど
- 9 上記の目的を達成するための、幹事会、部会、三役会の開催

(参考) 全国水産試験場長会規約抜粋

(事業)

第4条 本会の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員間及び本会に関係する他機関との情報交換
- (2) 中央の関係機関への要望及び提言
- (3) 全国大会の開催
- (4) 優秀研究業績の表彰
- (5) 会報の発信
- (6) その他第2条の目的を達成するために必要な事業

【平成30年度の活動状況と計画】

- (1)平成30年度第1回三役会、海面部会・内水面部会、幹事会の開催
開催（H30. 5. 30～31）三役、ブロック幹事出席
○平成30年度活動方針案及び活動計画案について ほか
- (2)関係機関・団体等訪問（H30. 5. 30～31）三役対応
○訪問先：水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構、全漁連ほか
- (3)平成30年度表彰審査委員会、海面部会・内水面部会、第2回幹事会の開催（H30. 9. 25～26）
○表彰審査委員会の結果について
○全国大会について
○地域水産試験研究振興協議会での協議事項について
○平成31年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (4)平成30年度第1回地域水産試験研究振興協議会出席（水産庁主催）
（H30. 9. 26）三役、ブロック幹事出席
○平成30年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (5)平成30年度第2回三役会の開催（山形県）（H30. 11. 5）三役出席
○平成31年度地域の抱える懸案事項 ほか
- (6)平成30年度全国大会の開催（山形県）（H30. 11. 5～6）
○活動報告（村山会長）
 - ・平成29年度活動結果および平成30年度活動計画について
 - ・国への要望「地域の抱える懸案事項」等について
○情報交換（立木副会長）
 - ・愛知県における水産業と調査船について
○話題提供
 - ・ユネスコ食文化創造都市認定の取組み（鶴岡市食文化創造都市推進課）
 - ・山形県における水産業と水産試験研究の現状について（忠鉢副会長）
○会長賞表彰（三宅委員長）
 - 「マボヤ被囊軟化症の蔓延防止に関する研究」
熊谷 明 副所長（宮城県水産技術総合センター）
 - 「アゲマキ漁獲再開に向けた20年の研究」
佃 政則 係長（佐賀県有明水産振興センター 資源研究担当）
 - 「溪流魚の増殖方法としての親魚放流の確立」
徳原哲也 専門研究員（岐阜県水産研究所 下呂支所）
○話題提供2
 - ・水産政策の改革について（水産庁研究指導課）

○現地意見交換会

- ・善寶寺
- ・クラゲドリーム館

(7)全国養鯉振興協議会主催全国食用鯉品評会での場長会賞表彰（福島県 H30. 11. 13）藤田場長（福島県内水試）対応予定
○うま煮の部、創作料理の部各1点について場長会賞を授与

(8)平成31年度地域の抱える懸案事項に関する提案・要望書提出(H31. 2. 15) 三役対応
○水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構へ提出

(9)平成30年度第3回幹事会の開催（H31. 2. 20）
三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事等参集予定

(10)平成30年度第2回地域水産試験研究振興協議会出席（H31. 2. 21）
三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事等参集予定

(11)平成30年度全国水産業関係研究開発推進会議出席（H31. 2. 21）
三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事等参集予定

(12)全国青年・女性漁業者交流大会での場長会会長賞の授与（H31. 3月上旬）

※その他水産庁、水産研究・教育機構等からの各種協力依頼に随時対応

- ・水産研究・教育機構機関評価委員会（水産研究・教育機構主催）（H30. 6. 15）村山会長対応
- ・NBT実用化戦略会議「水産部会」への委員派遣（農林水産・食品産業技術振興協会主催）（H30. 7. 5）三重県水産研究所対応
- ・三倍体魚の特性評価申請に関する検討会（水産バイオテク特性評価検討会）（H30. 6. 19、10. 17）立木副会長、忠鉢副会長対応
- ・全国水産技術者協会設立10周年にかかる記念事業への協賛
- ・水産工学関係研究開発推進会議（水産研究・教育機構主催）出席予定
- ・開発調査推進会議（水産研究・教育機構主催）出席予定
- ・水産増殖懇話会（日本水産学会主催）出席予定